

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.38
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp



9月定例議会・一般質問



9月定例議会の質疑・一般質問が10日(月)、11日(火)の2日間にわたって行われ、中村は11日の4人目として登壇。計3件の課題について一般質問を行い、執行部との論戦を展開しました。
(中面に関連記事)

中村が行った一般質問の内容

- | | |
|--|---|
| 1. 防災対策・震災復興について
(1)公文書の保管・バックアップについて
(2)災害図上訓練について
(3)小中学生の安全確保について
(4)放射能測定器の貸し出しについて | 2. 協働のまちづくりについて
(1)(仮称)「まちづくり塾」の創設について
(2)生涯学習部門のあり方について
3. 公共施設の有効活用について
(1)子育て支援センターについて
(2)体育施設について |
|--|---|

平成23年度 決算審査特別委員会

また、中村は21日(金)に行われた「平成23年度決算審査特別委員会」においても以下の12項目について質疑を行いました。

- | | | | |
|----------------|---------------------|------------------|------------------------|
| 1.ふれあい地域づくり事業費 | 2.芳賀地区広域行政事務組合費 | 3.人材育成費 | 4.行政評価推進事業費 |
| 5.交通安全施設整備費 | 6.生活保護費 | 7.住宅等災害復旧利子補給事業費 | 8.清掃総務費 |
| 9.勤労者対策費 | 10.中小企業等災害復旧資金利子補給金 | 11.公園管理費 | 12.歳入の収入未済額(固定資産税について) |

放射能測定に市職員を派遣 (10/1から開始)

執行部は、中村の一般質問に対する答弁において、10月1日(月)から放射能測定を希望する市民に対しては、市の職員が直接出向いて測定を行うことを表明しました。

【この件に関するお問い合わせは】

真岡市環境課
公害対策係
TEL 83-8127

市民と市政のかけ橋になりたい！

☆お気軽にお声をかけて下さい。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい！

☆お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を！

来年度の予算編成に向けて 建議要望を市長に提出！

9月定例議会の最終日である9月25日(火)、中村が所属する会派「真政クラブ・公明」では、平成25年度の予算編成に対して計51件の建議要望を井田市長に提出しました。
今回、中村が出した要望では以下のようなものが新たに盛り込まれました。

- | | |
|--------|--|
| 【防災関係】 | 緊急速報エリアメールのより積極的な活用
災害図上訓練の実施 |
| 【教育関係】 | 脳脊髄液減少症への適正な対策
学校支援ボランティアに対する教育委員会と各学校の役割の明確化 |
| 【環境関係】 | 天然ガスを活用した発電施設の誘致 |
| 【商工関係】 | 地域通貨制度の早期導入 |



関東若手市議会議員の会 会長に選出されました

8月8日(水)に山梨県甲州市で行われた「関東若手市議会議員の会」の総会において、中村は2012-2013年度の会長に選出されました(任期は2012年9月1日~2013年8月31日)。
「失われた20年」と言われ、混迷の時代が続く中において、若手の地方議員に課せられた使命は大きいものがあると思います。「今の我々に、今の立場から一体何が出来るのか」を改めて問い直す活動を展開していきたいと考えております。

2012-2013年度 関東若手市議会議員の会 役員

- | | |
|--------|-------------------|
| 会長 | 中村 和彦 (栃木・真岡市議会) |
| 副会長 | 小川 義人 (千葉・印西市議会) |
| 副会長 | 吉田 英司 (埼玉・川口市議会) |
| 副会長 | 高谷 清彦 (神奈川・逗子市議会) |
| 東京都代表 | 上田 由紀子 (東京・文京区議会) |
| 群馬県代表 | 高井 俊一郎 (群馬・高崎市議会) |
| 山梨県代表 | 佐藤 大輔 (山梨・甲州市議会) |
| 千葉県代表 | 甲斐 俊光 (千葉・我孫子市議会) |
| 茨城県代表 | 佐藤 隆治 (茨城・取手市議会) |
| 栃木県代表 | 湯澤 英之 (栃木・鹿沼市議会) |
| 埼玉県代表 | 吉田 英司 (埼玉・川口市議会) |
| 神奈川県代表 | 友田 宗也 (神奈川・藤沢市議会) |

- | | |
|-------|-------------------|
| 監 査 員 | 福田 克之 (栃木・さくら市議会) |
| 相 談 員 | 中村 勝彦 (山梨・甲州市議会) |
| 相 談 員 | 水村 篤弘 (埼玉・埼玉県議会) |
| 相 談 員 | 金子 渡 (群馬・群馬県議会) |
| 相 談 員 | 桐原 正仁 (山梨・甲州市議会) |
| 事務局次長 | 小川 亘 (栃木・小山市議会) |
| 事務局次長 | 松澤 武人 (千葉・鎌ヶ谷市議会) |
| 事務局次長 | 星 雅人 (栃木・大田原市議会) |



10月9日、東京で行われた「関東若手市議会議員の会」役員会にて

【解説】若手市議会議員の会とは？

原則として35歳までに初当選した45歳までの市議会議員による超党派団体。若手市議会議員同士の連携を図り、お互いに研鑽しあうことによって、中央と地方の政治のあり方を考え、民主主義と地方自治の発展に寄与することを目的としています。
全国組織は平成6年に結成され、現在の会員数は360名を超えます(関東地区の会員は約120名)。

「見逃した！」という方に
バックナンバーをお送りします

これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜37号までを見逃された方は、お気軽にご相談下さい。
ご希望のバックナンバーをお送りさせていただきます。

次回発行予定日

1月20日(日)

発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



中村かずひと議会レポート

9月定例議会 一般質問

答弁者：井田 隆一 市長
 酒井 勲 教育長
 矢板橋文夫 総務部長
 杉村 伸一 市民生活部長
 飯島 眞一 産業環境部長
 中里 滋 教育次長

1. 防災対策・震災復興 について



質問 東日本大震災では、津波の被害を受けた自治体において、公文書が毀損する問題が発生し、住民の安否確認などに支障をきたす例が多く見られた。大規模な地震や洪水などの自然災害は、真岡市でも十分に予想されることであるが、電子データを含めた公文書を**どのような形で保管・バックアップをしていくのか**。

答弁 真岡市の文書管理は、簿冊式ではなく、個別の文書フォルダーを活用した**ファイリングシステムを導入**し、非常時など必要な場合には**直ちに取り出せる**ようになっている。また、戸籍や住民基本情報などの**電子データ**については、**定期的にバックアップ**を行っており、万が一の場合でも業務が継続できるようになっている。

質問 全国各地の自治体では、DIG(Disaster Imagination Game)など**災害図上訓練**を実施している所が増えている。これは地域で発生する災害を想定し、地図を使いながら予測される事態を書き込む訓練で、**低コストで様々な災害を想定して行える**利点がある。愛知県豊橋市などでは、市民と行政が合同で災害図上訓練を行ってようであるが、**真岡市でも実施を検討してはどうか**。

答弁 真岡市では、東日本大震災と竜巻の被害を受けたが、災害が起きた時、できる限り被害を出さないためには、事前の対策や被災後の対応を考えておくことが大切である。今後、災害図上訓練を**どのような形で**行っていくのがよいか、**芳賀地区広域消防本部と十分検討**していきたい。

質問 今年5月に真岡市は竜巻の被害に見舞われた。後日、西田井小学校を視察した専門家によれば、**竜巻発生から学校が直撃を受けるまでの時間は30秒程度**だったとのことである。また、一瞬にして甚大な被害をもたらされる**直下型地震の発生も懸念**されている。こうした状況にあつては、子ども達の体を瞬時に守る環境を整えておく必要がある。**小中学生に対して防災頭巾を支給することはできないものか**。

答弁 東日本大震災や竜巻被害を契機として、落下物などから頭を守るため、防災頭巾を活用している学校の事例が報じられるようになった。真岡市では、一部の小学校で保護者の協力を得て導入している学校もある。**教育委員会としては、保護者の協力が得られるよう、各学校を通じて働きかけ**をしていきたい。

質問 6月定例議会で、**放射能測定器を市民に貸し出すべき**ではないかと質問したが、執行部にその考えはないということで大変残念に感じている。現在、真岡市は合計135ヶ所で空間放射線量の測定を行っているが、**自宅周辺や通学路、公園、家庭菜園などにおいてホットスポットはないか、市民は不安**を抱いている。そうした不安要素は、できるだけ除去するよう取り計らうのが行政の務めではないか。

答弁 放射能測定器の貸し出しについては、測定方法のバラつき、測定数値の一人歩きなどの恐れがあることから実施する考えはない。しかし、市民に安心してもらえよう、**希望者の自宅を市職員が訪問し、空間放射線量の測定と結果の説明を行う「出張測定」を実施する**。

2. 協働のまちづくり について



質問 最近、真岡市では「もおか市民討議会」、「観光ネットワーク協議会」、「自治基本条例検討市民会議」など、**市民と行政が一緒になって議論する取り組み**が見られるようになった。これは大変素晴らしいことと考える。**より幅広い課題**について研究し、議論し合うために(仮称)「まちづくり塾」のようなものを創設してはどうか。

答弁 協働のまちづくりは、社会の幅広い分野で活躍している多くの市民に興味あるテーマや得意とする分野ごとに、様々な形で市政に参加してもらうことが重要だと考えている。したがって、(仮称)「まちづくり塾」のような**新たな仕組みをつくるのではなく、これまでの取り組みの工夫・改善**することで、協働のまちづくりを推進していきたい。

質問 協働のまちづくりを進めるにあたっては、**生涯学習のあり方も大きく変わる**必要がある。単に学ぶだけでなく、**学んだことを生かしながら市民がまちづくりに参画**することが重要視されており、その体制づくりは市政全般にわたる課題であると言える。そうしたことを考えると、**生涯学習課を教育委員会に置いている現状には疑問を抱く。市長部局に移すべき**と考える。全国市長会も「生涯学習部門は市町村長の所管とすべき」という内容を盛り込んだ報告書を出しているが、

答弁 真岡市では**生涯学習推進本部を設置し**、本部長に市長、副本部長に副市長と教育長に置くなど、生涯学習の推進を**全庁的に取り組んでいる**。また、**生涯学習の事務については社会教育法の中に**、市町村の教育委員会の役割として、公民館の設置及び管理、講座の開設及び講演会その他集会の開催などが**定められている**。こうしたことから、生涯学習課を市長部局に移管する考えはない。

3. 公共施設の有効活用 について



質問 小さな子どもの保護者などから、これまで**子育て支援センターの日曜開園**を望む声が多く寄せられてきた。これは、子育て支援という1分野の問題だけではない。休日どこで過ごすのかということは、**地域経済の活性化に関わるもの**と考える。現在、各地区の公民館などを使って**子育てサロンが開かれているが利用者は多くない。再編すれば子育て支援センターの日曜開園も十分に可能**ではないか。

答弁 **子育て支援センターは、子育て支援の拠点施設**として、子育てに関する相談や親子の交流事業が主な目的であるので、**日曜開園は考えていない**。日曜日は、家族がくつろぐことのできる日である。外出するのも良いが、家庭での団らんの時間も大切にしてほしい。また、子育てサロンは、利用者の多い子育て支援センターではできない時間をかけた相談ができる利点があるので再編は考えていない。

質問 真岡市の**体育施設は、利用時間が午後9時まで**となっており、一般の社会人が仕事を終えてからスポーツを楽しむのは難しい環境である。県内14市の体育施設を見ると、**11市が午後9時半または10時まで利用可能**という状況である。また、旧二宮町も10時まで利用可能であった。**利用者の声を聞いた上で体育施設の利用時間延長を検討してはどうか**。

答弁 体育施設の利用時間については、**現状でも近隣から夜間の騒音について苦情**がでることがある。また、利用者への**アンケート調査**については、これまで利用時間延長の要望がなかったため**実施していなかった**。まずは、周辺住民の生活環境について再度話を聞き、**条件が整った段階で利用者へのアンケート調査**を検討したい。

再質問



小中学生への防災頭巾支給について

質問 防災頭巾の用意は、それぞれの保護者の**自己責任**という考え方は理解した。しかし、その中でも**教育委員会の役割はある**と思う。**各家庭への呼びかけ**はいつ頃までに行うつもりなのか。また、**低所得の家庭へのフォロー**はどうするのか。

答弁 今後行われる**校長会などで周知徹底**の協力を呼びかける。また、低所得者への対応についてであるが、導入している学校の例を見ると、既製品を購入するだけでなく、**手作りで防災頭巾を作成した家庭もある**ようだ。防災意識を高めることにもつながるので、保護者の協力をお願いしたい。

要望 こうした取り組みで**最も懸念されるのは、各学校で温度差が生じる**ことである。教育委員会としても**明確なタイムスケジュール**をもって対応していただきたい。

市職員による放射能の出張測定について

質問 放射能測定を市職員が各家庭に出張して行っていくとのことであった。しかし、**市民が測定してほしい箇所**は、各家庭にとどまらず公園や家庭菜園など多岐にわたる。そうしたニーズには、どのように応えるのか。

回答 出張測定は**10月から実施**していきたいと考えているが、**細かい詰めは今後していく**予定である。原則として日常生活する場所を測定していくが、長時間いるような場所についても現状を見てから判断していきたい。

要望 放射能測定をしていない場所があるから、現在市民は不安になるのである。**測定する場所については、柔軟に対応していただきたい。**

(仮称)『まちづくり塾』について

質問 先ほどの答弁を聞き、**真岡市はPRの仕方と仕掛けづくりが下手**だと痛感している。協働のまちづくりは井田市政における市政運営の柱の1つである。だからこそ、**市民にメッセージとして明確に示せる看板・アドバルーン的施策は必要**ではないか。色々な取り組みをしているのは分かるが、だから市民には分かりづらい側面もある。(仮称)『まちづくり塾』のように1つに大きくまとめることで、市民にとって分かりやすいというメリットもあるが。

回答 例えば、市民協議会は青年会議所のメンバーで主導して進めてきている。市民が真岡市をどのようなまちにしたいのか、一緒になって話し合うということが本来あるべき協働のまちづくりの姿だと考えている。**協働のまちづくり**というものを、**行政主導で進めていいのか**という疑問が残る。

要望 協働のまちづくりを進める上で重要なのは、市民と行政が一体となって取り組むことであって、**どこが組織を立ち上げるのかは、あまり問題ではない**と考える。今行われている『自治基本条例検討市民会議』や『観光ネットワーク協議会』は、**行政が立ち上げたものである**。そうしたものの発展的な形として、(仮称)『まちづくり塾』の立ち上げを検討していただければと思う。

生涯学習課のあり方について

質問 どの自治体においても、生涯学習の水準が一定に保たれてきたことについては、社会教育法が担ってきた役割として評価しなければならない。しかし、**教育基本法**が平成18年に改正された際、『**学習した成果を適切に生かすことができる社会の実現が図られなければならない**』との文言が新たに書き加えられた。これについては、真岡市も放置できないと思うが。

回答 **社会教育法**にのっとれば、**生涯学習部門は教育委員会が所管**するということになっている。ただし、その中の**一部を首長部局に委託してもいい**ということだと考える。真岡市としては、教育委員会の所管としていきたい。

質問 教育委員会の所管で問題がなければ良いが、協働のまちづくりを進めていく中で、教育委員会から行政全体に呼びかけていくことの難しさを感じる事例が多々見られる。そもそも、**生涯学習の問題が教育委員会で完結**するのであれば、**生涯学習推進本部の本部長をなぜ市長が務めているのか**。教育長であるのが筋ではないか。

回答 確かに、**生涯学習部門**の中には、男女共同参画のように**教育委員会の枠を超えるもの**もある。そういうものについては市長が本部長を務めている。しかし、**大半の事業は教育委員会の所管とした方がいいもの**と考えている。

質問 今、教育委員会の所管だから、今後も同様にやっていくということ以外の**積極的な理由が伝わってこない**。例えば、**自治会の活動やボランティアの育成**などの課題では、生涯学習課以外の部署でも重複して取り組まれているものも多い。生涯学習課を**市長部局に移管**した場合、そうした**縦割りの弊害を是正**することにもつながると考える。また、**社会教育法に絡む課題**が再三指摘されているが、真岡市**独自の生涯学習に関する条例**を制定することで、課題はクリアできるものと考えている。

回答 **条例を制定**する場合、上位にある国の**法律に基づかなければならない**。地域づくりの問題などについては、**生涯学習推進本部の中で対応できるもの**と考えている。しかし、事業を進めていく上で問題が起きた場合は、次のステップとして検証していかなければならないと考えている。

要望 現在は『上乘せ条例』や『横出し条例』と呼ばれる**国の基準のさらに上を行く条例も各地の自治体で制定**されている。独自の生涯学習に関する条例をつくるということは、社会教育法では困難な、真岡市の地域性にマッチした生涯学習のあり方を描き出すことにもつながると思う。ぜひ、今後の課題として検討していただきたい。

子育て支援センターの日曜開園について

質問 日曜日は親子がふれあう貴重な日だから、子育て支援センターの日曜開園は考えていないとのことだが、そもそも執行部は**日曜日に親子がふれあう**ということ、**どのようなものとイメージ**しているのか。家に閉じこもることでも考えているのか。

回答 子育てをしていくためには、親子だけでなく**家族全員でふれあう日**をつくっておくべきだろう。家族で家に閉じこもることではなく、**みんなが出かけることも大切**とは考える。

質問 今回の一般質問に先立って、**子育て中の市民約50人**に『今年に入って**子どもと休日どこへ出かけたか**』という**アンケート**を試みた。その回答を見る限り、**真岡市内は休日過ごす場所に乏しい**ということが如実に表れている。真岡市は、**市内に休日とどめる仕掛けづくり**をもっと考えるべきではないか。その一環として子育て支援センターの日曜開園を考えてはどうか。

回答 子育て支援センターの日曜開園が、休日にとどませるのに効果があるか分からないが、家族そろってふれあうには**市外に出かけることも1つの方法**だと思う。

要望 見過ごせないのは、**多くの市民が休日市内で過ごす場所がないと感じている**ということである。その点はぜひ重く受け止めていただきたい。

体育施設の利用時間延長について

質問 今後、周辺住民と意見調整をした上でアンケートなどを実施するとのことだったが、**具体的なタイムスケジュール**は。

回答 今すぐということは難しい。周辺住民や体育協会など**関係団体との意見集約を行った上で**検討したい。

要望 できるだけ**早急な対応を要望**したい。



文教常任委員会 行政視察 & 会派視察研修

7月から8月にかけて、文教常任委員会の行政視察と会派視察研修を1回ずつ実施しました。

1. 文教常任委員会行政視察 (7月4日~6日)

広島県尾道市 (学校の統廃合について)
兵庫県神戸市 (運動公園の整備について)



【尾道市】

尾道市では平成17年頃から小中学校の適正配置を進めてきた。これまでに4つの小学校が他校に統合されている。平成23年12月には「小中学校再編計画」を策定。幼・小・中の一貫教育を目標としており、最終的には小中学校をそれぞれ13校にまで統廃合を進めるとしている。ただし、この取り組みがスタートした直後に尾道市と合併した周辺市町の住民にとっては「寝耳に水」の話であり、理解をいかに得ていくかなど課題は少なくない。



【神戸市】

神戸市総合運動公園は、陸上競技場や野球場など7つの運動施設がある。野球やサッカーなどのプロスポーツチームの活動拠点としても知られている。その一方で市民参加型のスポーツクラブを企画・運営しているほか、公園内の緑化整備活動にも市民を巻き込んだ取り組みをしている。

①運営をどのような団体に委ねるか、②将来的な施設更新をも視野に入れた整備をいかに進めるかなど、今回神戸市側が挙げた課題は真岡市としても慎重に検討しなければならぬと痛感した。

今回の視察では、下記の金額が公費でまかなわれました。(3日間:議員1人あたり)

※当然のことですが、視察中の飲食代は全て議員の個人負担です。
※議員日当(3,300円×3日)の是非については、今後も課題としていきたいと考えております。

総額	84,210円	出所	議会費のうち旅費
内訳	交通費、宿泊費、相手先みやげ代、議員日当など		

2. 会派視察研修 (8月1日~3日)

岩手県遠野市 (災害対策について)
青森県八戸市 (定住自立圏構想について)



【遠野市】

遠野市は沿岸の自治体と隣接しており「後方支援活動」の拠点として位置づけられてきた。東日本大震災では発生直後から、自衛隊やボランティアのために市の公共施設を開放。さらに、全国から集まる救援物資についても拠点の役割を果たした。被災した地元住民への対応と、後方支援を同時に行っていたことを考えると、行政の動きは驚異的である。

災害発生直後から迅速な対応に加え、ボランティアと連携した取り組みなどは真岡市としても学ぶべき点が多い。



【八戸市】

「定住自立圏構想」は、平成20年から総務省が各地の自治体に呼びかけているもの。中心市の都市機能と、周辺市町村の農林水産業や自然環境を活用しながら、相互に役割を分担。必要な生活機能を確保することで、地方圏の人口定住を進めるのが狙い。

現在、八戸市を中心とした定住自立圏構想には、同市のほか周辺の7町村が参加。医療、福祉、産業振興など30の施策が相互協力しながら取り組まれている。

今回の視察では、下記の金額が公費でまかなわれました。(3日間:議員1人あたり)

※当然のことですが、視察中の飲食代は全て議員の個人負担です。

総額	63,960円	出所	政務調査費
内訳	交通費、宿泊費、相手先みやげ代など		

なお、視察の詳しい所見については、中村のホームページに掲載予定です。

コラム ずーむ あっぴ

「今年に入って休日にお子様と出かけた場所を教えてください(注:市内・市外問わず)」

今回の一般質問に先立ち、私は子育て中の市民約50人にそんな質問をぶつけてみた。ちなみに、一般質問で取り上げたテーマは「子育て支援センターの日曜開園」だった。子育て支援センターは、平成12年に旧田町保育所の建物を活用し、地域子育て支援拠点施設として開設され、月曜日から土曜日の午前9時から午後5時まで利用可能となっている。しかし、小さな子どもを持つ市民からは「せっかく子育て支援センターのような施設があるのに、なぜ日曜日に利用できないのか」「市内に休日子どもと過ごせるような場所がない」といった声がこれまで度々寄せられてきた。この問題は、単なる「子育て支援策」の分野にとどまるものではないと私は考えている。市民が家族を連れて休日どこで過ごすのかということは、裏を返せば「どこへ出かけてお金を使っているか」ということであり、地域経済の活性化に関わる課題でもあると言える。

そうした思いから、冒頭の質問を試みたのであるが…。各回答の中身を見ていくと、様々な施設名が列挙されていたが、真岡市内の施設では「井頭公園」が書かれていた程度だった。買い物については概ねインターパークやベルモール。また、最近

休日親子遊び場が
たくさんある

高速道路ができたこともあるだろう。那珂湊や大洗周辺など県外の施設名も目立った。交通網の整備がかえって人の流出を促進してしまう、いわゆる「ストロー現象」が真岡市で起きていることが、今回の調査結果を見る限り雄弁に物語っている。子どもと休日過ごす場所に乏しいということは、20~40歳代の市民が地元にお金が落ちていないということである。これは決して看過できる問題ではない。今、真岡市は地域ブランドをつくるための様々な取り組みが行われている。今年度は、真岡駅前に「SLミュージアム」を整備中でもある。また、数年前から「プレミアム付き商品券」を発売し、前回の一般質問では「地域通貨」の導入についても前向きな答弁が聞かれた。それらは全て地域経済の活性化のために行われてきたはずである。にもかかわらず、市民が地元から流出してしまっているのであれば、全く意味をなさない。無論、子育て支援センターを日曜日に開園すれば、全ての問題が解決するような単純な問題ではない。現在の財政状況を考えれば、親子連れが休日のたびに訪れるような施設を整備することもなかなか難しい。であれば、なおのこと既存の施設やイベントを活用しながら、市民を地元にとどませる仕掛けづくり、導線づくりということはもっと真剣に考えるべきではないか。

中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は
中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕
真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会
代表 中村和彦



中村かずひこと活動日誌

7月	8月	9月
2日 あいさつボランティア	1~ 会派視察研修	8日 真岡中学校運動会
3日 「ひばりの会」定例会	(岩手県遠野市、青森県八戸市)	10日 あいさつボランティア
もおか市民討議会2012実行委員会	3日 芳賀郡市「副議長会」(於:芳賀町)	質疑・一般質問1日目
4~ 文教常任委員会行政視察	4日 東郷団地夏祭り	質疑・一般質問2日目
(広島県尾道市、兵庫県神戸市)	6日 小川巨・小山市議と面会	※この日、4人目として登壇
7日 おおか市民討議会2012	7日 「ひばりの会」定例会	会派勉強会
大谷広報編集委員会	県南6市議会議長会主催議員研修(於:佐野市)	真岡地区区長との懇談会
8~ 地方自治を学ぶ会(於:日光市)	8-9日 関東若手市議会議員の会総会・研修会	12日 真岡青年会議所総会(於:那須烏山市)
9日 真岡青年会議所創造美育推進委員会	(於:山梨県甲州市、甲府市)	13日 文教常任委員会
10日 関東若手市議会議員の会役員会(於:東京都新宿区)	17日 入江巡一議員告別式	14日 小嶋斉・市員訂議と面会
11日 真岡青年会議所創造美育勉強会(於:益子町 たら幼稚園)	18日 「やまさわの里」納涼祭	自治基本条例検討市民会議を傍聴
真岡新聞首訳作業(「ひばりの会」の活動として)	19日 伊夜日子会奉仕作業	15日 真岡小学校運動会
自治基本条例検討市民会議を傍聴	20~ 全国若手市議会議員の会総会・研修会	亀山小学校運動会
真岡市遺族会連合会研修会(於:靖国神社など)	(於:香川県坂出市、丸亀市)	真岡西小学校運動会
13~ 日本青年会議所関東地区協議会やまなし・甲府大会	22日 真岡青年会議所例会	18日 真岡青年会議所創造美育勉強会
(於:山梨県甲府市)	23日 1~3期議員有志勉強会	19日 決算審査特別委員会の通告書を提出
14日 コットンウェイ硬式野球倶楽部創部10周年&	25日 大谷の夏祭り	※その後、市の担当課と接見
北関東大会初出場祝賀会	28日 議員協議会	20日 芳賀教育美術展
19日 とちぎローカルネットワーク「野嵐会」総会	29日 一般質問通告書を提出	21日 決算審査特別委員会にて質疑
(於:宇都宮市)	30日 質疑・一般質問調整会議	議員協議会
20日 栃木県議会議長会主催議員研修会(於:下野市)	※その後、市の担当課と接見	芳賀教育美術展
22日 トンボの池管理作業(「真岡自然観察会」の活動として)	9月	23日 真岡青年会議所例会
明治大学公共政策大学院ケーススタディ(於:明治大学)	2日 伊夜日子会奉仕作業	24日 交通安全指導(高間木の交差点)
23~ 全国若手市議会議員の会役員会・研修会	鈴木俊夫議員告別式	25日 9月定例議会閉会
(於:愛知県豊橋市、蒲郡市)	3日 あいさつボランティア	会派建議要望を市長に提出
26日 日本青年会議所関東地区協議会8ブロックネットワーク委員会	4日 9月定例議会開会	芳賀教育美術展
(於:佐野市)	会派建議要望の取りまとめ	29日 真岡東小学校運動会
27~ 真岡の夏祭り	真岡青年会議所創造美育推進委員会	30日 大谷地区敬老会
29日 真岡青年会議所創造美育推進委員会	8日 真岡東中学校運動会	